



**一の神殿
登高欄、木階、浜縁解体前**

正面の向拝と呼ばれる箇所
解体を行いました。
この箇所は、地震によって部材
の破損、仕口の外れや緩みが
生じており、分解して補修する
必要があります。

**一の神殿
登高欄、木階、浜縁解体中**

部材を1本1本分解していきま
した。



**一の神殿
登高欄、木階、浜縁解体完了**

解体した部材は調査を行い、ど
こを補修すべきか検討します。





**一の神殿
地長押・腰長押・壁板解体**

背面南端の柱が地震によって外に広がり、壁板がずり落ちていました。柱を引き戻すため、部材の一部を解体しました。



写真の解体した壁板はここです

**二の神殿
耐震補強材墨付・加工**

二の神殿の床下に入れる耐震補強材です。今月は耐震補強材用の基礎工事と、土台の墨付・加工を行いました。



**三の神殿
雨落葛石据直し**

位置、高さを調整したのち、固定しました。



写真はこの部分です



**楼門
解体部材移動**

解体後、仮置きしていた部材を、単管小屋を組み立てる敷地に移動しました。

**神幸門・還御門
金具修理**

門本体の金具も経年により表面が錆びていました。そのため、錆転換剤塗布を行いました。



**神幸門
北側親柱・唐居敷修理**

唐居敷は内部や木口を埋木したのち、もとの材を接着しました。柱の根元も腐朽が激しかったため、埋木を行いました。



この部分です